

# 技術説明書

下記の表に記載された項目について回答欄に記入し、その詳細について特に指定がなければ**任意の別紙に整理番号・分類・項目とともに明瞭に記載すること**。必要に応じて図表を用いて内容を具体的に記述すること。

必須/任意：○回答必須項目、△任意項目とする

回答：A-実績あり、B-実績はないが対応可能、C-対応不可 として記入すること

内容：簡潔に記述できる場合は記入すること。必要に応じて別紙を用いて良い。**回答Bの場合は対応可能である点を具体的かつ詳細に示すこと。**

## 会社名

整理番号	分類	項目	記載すべき内容	必須-任意	回答	備考
1-1	基礎	製作実績	日本の学術英文誌の出版経験について具体的に記載する	○		別紙実績報告書を利用すること
1-2		学術雑誌 関連知識	学術英文誌の投稿・査読・編集・出版・公開の一連の工程に関する知識について記載すること	△	-	
1-3		成功事例 評価事例	学術英文誌の出版に関して、第3者から評価を受けた点があれば記載すること	△	-	
2-1	出版 システム	学術出版	一般的な学術英文誌発行体制が整っていることを具体的に記載すること	○		
2-2		メタデータ 出版	TeX, SGML, XML等のメタデータを先に生成するワークフローが実現していることを具体的に記載すること	○		bib(J-STAGE登載用データ)をメタデータとする場合は、bibを先に製作している体制を詳細に記述すること
2-3		組版 システム	上記メタデータを効率よく利用した版下作成システム(3B2等)を利用していることを具体的に記載すること	○		本案件に使用する組版システム名は必ず明記すること。また、特に版下に修正が入った場合にメタデータにどのように修正が反映されるかについては必ず記述すること
2-4		特殊記号 数式等	特殊記号や数式に効率よく対応した出版システムであることを具体的に記載すること	○		
2-5		紙面	学術英文誌として質の高い紙面(レイアウト)を作成していることを具体的に記載すること	○		
2-6		その他	雑誌のクオリティを特に出版システムの点から改良できる点があれば記載すること	△	-	
3-1	ワーク フロー	入稿	仕様書に基づく原稿のデータ入稿に対応可能であることを具体的に記載すること	○		
3-2		工程管理	査読システムなどを利用して入手した事務局提供の入稿基礎データ(ファイルメーカー、もしくはカンマ区切りファイルで、連絡者情報、入稿情報等が含まれている)を利用し、初校から校了まで迅速にかつミスを極力少なく工程管理を行えることを具体的に記載すること	○		
3-3		初校ゲラ	入稿後1週間以内に初校ゲラを作成できる体制になっていることを具体的に記載すること	○		実績を示す場合は具体的な事例を提示すること
3-4		ファイル 共有	事務局-印刷会社間でデジタルデータをオンライン上で共有できる体制を具体的に記載すること	○		例:FTPサーバーと共有エリアの提供等
3-5		校正	校正ゲラをインターネットサーバーを利用して効率よく著者に届けられる体制を具体的に記載すること	○		
3-6		連絡	事務局-印刷会社間の情報の伝達と物資の移動が迅速かつ効率よく行える体制を具体的に記載すること	○		

3-7		その他	上記以外でワークフローの観点から雑誌のクオリティを向上させるものがあれば記載すること	△		
4-1	出力物	PDF	校了後、速やかにPDFファイルが出力できること、PDF内にDOIおよび引用文献のリンクを効率よく埋め込める体制になっていることを具体的に記載すること	○		
4-2		書誌・抄録html	上記メタデータから書誌htmlをプログラム生成できる体制であることを具体的に記載すること	○		
4-3		全文html	上記メタデータから全文htmlをプログラム生成できる体制であることを具体的に記載すること	○		
4-4		RSS	上記メタデータから書誌事項のRSS(1.0もしくは2.0)ファイルをプログラム生成できる体制を具体的に記載すること	○		
4-5		対外XML	上記メタデータからNLM-DTDに基づくXMLが生成できる体制を具体的に記載すること。	○		同等のメタデータが生成できる場合には回答をBとし同等であることを詳細に記述すること
5-1	機能拡張	引用文献1	引用文献メタデータからCrossRefサーバーに照会して、著者校正前に引用文献リンクを入手できる体制を具体的に記載すること	○		
5-2		引用文献2	引用文献の正確さ等に対応し、正しいリンク情報を得る体制を具体的に記載することを具体的に記載すること	○		
5-3		引用文献3	上記引用文献リンクの情報を蓄積できる体制を具体的に記載すること	○		
5-4		早期公開	論文ゲラの校了と同時に論文単位でweb公開ができる体制を具体的に記載すること (校了後からメタデータを作り始めるプロセスは不可)	○		
5-5		その他	今後電子ジャーナルの機能を高める機能拡張があれば、その実現性を具体的に記述し記載すること	△	—	
6-1	J-STAGE対応	登載	J-STAGEへの登載と検取ができる体制を具体的に記載すること	○		
6-2		対応力	運用上、あるいは技術上、J-STAGE側の変更が発生したときに迅速に対応できる体制を具体的に記載すること	○		
7-1	その他	自由提案1	上記以外で英文誌の冊子・紙面のクオリティを向上させる点があれば記載すること	△	—	
7-2		自由提案2	上記以外で英文誌の電子ジャーナルのクオリティを向上させる点があれば記載すること	△	—	
7-3		自由提案3	上記以外で英文誌のメタデータのクオリティを向上させる点があれば記載すること	△	—	

以上